

I 第71回全日本中学校長会研究協議会和歌山大会 開催要項

1 開催趣旨

今の子供たちが成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。既に、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により社会構造や雇用環境は急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。こうした背景を踏まえ改訂された新中学校学習指導要領は、いよいよ令和3年度から全面実施となる。

そこで、全日本中学校長会は、我が国の中学校教育の向上に資するとともに、広く国民の信託に応えるべく、「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」を主題として、研究協議を進めているところである。

私たち校長は、学校経営の責任者としての使命感や確固たる教育理念とビジョンをもち、課題解決に向けたリーダーシップを発揮していく必要があり、地域住民から支持され信頼される学校の創造は、校長の双肩にかかっている。そのような中、和歌山県における特徴的な教育実践例として、子供たちの命を守る防災教育の取組を挙げることができる。教科書にも掲載されている「稲むらの火」の物語は、本県広川町の濱口梧陵の実話をもとに作られたもので、津波防災教育における貴重な題材となり、防災意識の向上・継承に繋がっている。そして、この物語を大きな要素とした『「百世（ひやくせい）の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～』のストーリーは、平成30（2018）年に日本遺産に認定された。

本大会においては、これまでの研究成果を踏まえ、全国中学校長会の英知と創意を結集して、主題に迫る具体的な方策を究明し、我が国の中学校教育の一層の充実発展を期するものである。

2 研究協議会主題

「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」

- 3 主催 全日本中学校長会 近畿中学校長会
- 4 主管 和歌山県中学校長会
- 5 後援 文部科学省 和歌山県 和歌山市 和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会
和歌山県市町村教育委員会連絡協議会 和歌山県連合小学校長会
和歌山県PTA連合会
- 6 協力 公益財団法人日本教育公務員弘済会和歌山支部
教職員共済生活協同組合和歌山県事業所 公益社団法人和歌山県観光連盟
- 7 期日 令和2年10月21日（水）・22日（木）・23日（金）

8 日程

		8:30	9:30	10:30	11:30	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00	18:00	20:00
大会1日目	21日 (水)				受付	全日中常任理事会 (アクアグラン)		受付	全日中理事会 (ル・グランA)		受付	歓迎の集い ・レセプション (ル・グランA・B)
							受付	全体協議会 運営委員会 (ル・グランB)	受付	分科会 運営委員会 (ル・グランC)		
ホテルグランヴィア和歌山												
大会2日目	22日 (木)	受付	開会式	文科省説明	全体協議会	昼食移動	8分科会 (13:45～16:45)					
		和歌山ビッグホエール					ビッグホエール・ビッグウエーブ・ホテルグランヴィア					
大会3日目	23日 (金)	受付	アトラクション	全体会	記念講演	閉会式						
		和歌山ビッグホエール										
		参加者数					2,132人					

9 会 場

月日	会 議 名		会 場	時 間	所在地・電話	
10 月 21 日 (水)	(1)	全 日 中 常任理事会	ホテルグランヴィア和歌山 アクアグラン	11:30～ 13:50	〒640-8342 和歌山市友田町5-18 (073) 425-3333	
	(2)	全 日 中 理 事 会	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランA	14:00～ 17:00		
	(3)	全体協議会 運営委員会	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランB	13:30～ 14:30		
	(4)	分 科 会 運営委員会	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランC	15:00～ 17:00		
	(5)	歓迎のつどい レセプション	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランA・B	18:00～ 20:00		
10 月 22 日 (木)	受 付		和歌山ビッグホエール エントランスホール	8:30～ 9:25	〒640-8319 和歌山市手平2-1-1 (073) 433-0035	
	(6)	開 会 式	和歌山ビッグホエール メインアリーナ	9:30～ 10:20		
	(7)	文部科学省説明 全 体 協 議 会	和歌山ビッグホエール メインアリーナ	10:30～ 12:10		
	昼 食・移 動			12:15～ 13:40		
	分 科 会	(8)	第1分科会 (277人)	和歌山ビッグホエール 軽運動場	13:45～ 16:45	〒640-8319 和歌山市手平2-1-1 (073) 433-0035
			第2分科会 (366人)	和歌山ビッグウエーブ メインアリーナ		
			第3分科会 (317人)	和歌山ビッグウエーブ 武道場		
			第4分科会 (318人)	和歌山ビッグウエーブ サブアリーナ		
			第5分科会 (213人)	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランA		〒640-8342 和歌山市友田町5-18 (073) 425-3333
			第6分科会 (217人)	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランB		
			第7分科会 (212人)	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランC		
		第8分科会 (212人)	ホテルグランヴィア和歌山 アクアグラン			
10 月 23 日 (金)	受 付		和歌山ビッグホエール エントランスホール	8:30～ 9:15	〒640-8319 和歌山市手平2-1-1 (073) 433-0035	
	アトラクション		和歌山ビッグホエール メインアリーナ	9:20～ 9:50		
	(9)	全 体 会	和歌山ビッグホエール メインアリーナ	10:00～ 10:20		
	(10)	記 念 講 演 閉 会 式	和歌山ビッグホエール メインアリーナ	10:30～ 12:30		

10 参加者数 2,132人

11 参加費 7,000円

12 来 賓

文部科学大臣
和歌山県知事
和歌山県教育委員会教育長
和歌山県市町村教育委員会連絡協議会会長
全日中研究協議会前大会実行委員長
和歌山県中学校長会元・前会長
和歌山県PTA連合会会長

文部科学省大臣官房審議官（初中局担当）
和歌山市長
和歌山市教育委員会教育長
全日本中学校長会元・前会長
近畿中学校長会元・前会長
和歌山県連合小学校長会会長

13 分科会

- (1) 日 時 令和2年10月22日(木) 13:45～16:45
(2) 会 場 和歌山ビッグホエール・和歌山ビッグウエーブ・ホテルグランヴィア和歌山
(3) 研究協議会主題
「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」

分科会	研 究 題	担当地区
第1分科会	「カリキュラム・マネジメント」の推進	中国地区
第2分科会	「主体的・対話的で深い学び」の実現	北海道地区
第3分科会	よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実	近畿地区
第4分科会	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	九州地区
第5分科会	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	四国地区
第6分科会	自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実	東海北陸地区
第7分科会	多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成	東北地区
第8分科会	地域との連携・協働による「チーム学校」の実現	関東甲信越地区

14 アトラクション

- (1) 日 時 令和2年10月23日(金) 9:20～9:50
(2) 会 場 和歌山ビッグホエール(メインアリーナ)
(3) 内 容 藤白の獅子舞
(4) 出 演 藤白の獅子舞保存会



『藤白の獅子舞』

藤白神社は、熊野参詣道（熊野古道）紀伊路の藤白王子跡として、熊野一の鳥居（熊野の入り口）と称されており、上皇、法皇、貴族の熊野御幸の折には、経供養、和歌会、里神楽、相撲が催し物として行われました。藤白の獅子舞は、こうした機縁から生まれ、建仁元年に後鳥羽上皇が熊野御幸の際に、旅の安全祈願の為に演じられたが始まりといわれます。

藤白の獅子舞は他の獅子舞とは違い、獅子の中には5人が入り大きな獅子を演じます。また、演舞は二幕構成になっており、一幕目では、うららかな春の日ざしに、穴からうかれた一頭の『獅子』が出てきて、蝶や花にたわむれながら眠り込んでしまいます。

二幕目では、眠り込んだ『獅子』の前に、この地の狐(りょう)の神様としてあがめられている『天狗』の面をつけた『猿田彦命』が現れます。これに驚いた『獅子』は、『猿田彦命』のもつ巻物を取ろうとしてあばれます。何度も取ろうとしますが、『猿田彦命』の剣でその都度振り払われてしまいます。その後、『猿田彦命』は去ってしまい、『獅子』は諦めて穴に帰っていきます。このように『藤白の獅子舞』は、神様と獅子が仲良くなるどかな春をうたいあげる様子を表しています。その際に奏でられる、笛と太鼓は雅な音色を奏でます。

15 記念講演

- (1) 日 時 令和2年10月23日(金) 10:30~12:00
- (2) 会 場 和歌山ビッグホエール(メインアリーナ)
- (3) 演 題 「時を超える力 道成寺の1300年のあゆみ」
- (4) 講 師 小野 俊成 (おの しゅんじょう) 氏

※講師プロフィール

道成寺院代(住職)。

1962年、和歌山県生まれ。

広島大学大学院修士課程終了、文学修士(哲学)。

1988年より道成寺に勤務。1991年、ナショナル・ギャラリー(ワシントンD. C.)で英語による絵ときを披露、2006年には国立劇場小劇場『語りの世界』で絵ときをするなど広範囲に活躍。道成寺では、年間3000回以上行う絵ときの約半数を担当する。



※安珍と清姫の物語

延長6年(928年)、道成寺の性格を一変する事件がおこります。福島県白河市から来た修行僧の安珍が、和歌山県田辺市の清姫という女性に追いかけられ、道成寺の釣鐘に隠れましたが、大蛇に化けた清姫に焼き殺されたと言われます。

以来、道成寺は釣鐘の無い寺になりました。その伝説が、文学、美術、舞踏、映画などあらゆる芸術の分野のテーマとなり、「道成寺物」と呼ばれています。安珍と清姫の物語は、まず「今昔物語集」などに記録され、室町時代の享禄年間頃(1500年頃)に絵がつけられ「道成寺縁起」(重要文化財)としてまとめられました。縁起堂では、道成寺縁起の写本を広げて物語を説明する「絵とき説法」が毎日行われています。

16 参加申込

- (1) 各都道府県中学校長会事務局(以下各事務局)は、5ページの都道府県参加者割当表に従い参加者を募ってください。
- (2) 参加予定者は、参加申込票(別紙)に必要事項を記入し、参加費(7,000円)を添えて各事務局に提出してください。
- (3) 各事務局は、参加申込票と参加費をとりまとめたうえ、参加者名簿を作成してください。
- (4) 各事務局は、参加申込票及び参加者名簿を8ページ「IV宿泊プラン及びセットプラン利用のご案内」により「株式会社近畿日本ツーリスト関西トラベルサービスセンター西日本」へ、また、参加費は下記の「17 参加費等の送金方法」により、「全日中和歌山大会」へお送りください。
締切は、いずれも令和2年6月5日(金)とさせていただきます。
- (5) 大会に参加される皆様へ(宿泊申込について)
宿泊施設をご自身で手配される方が増えてきているようですが、本県(和歌山県)の地域性により、訪日観光客の大幅な増加で今後、個人では手配できない状況も出てくるものと思われます。
確約を担保するという観点から可能な限り担当者(近畿日本ツーリスト関西和歌山支店)で準備した宿泊先へお申し込みいただきますようお願いいたします。
- (6) 申込み後の参加取り消しにつきましては、参加費の返納はいたしませんのでご承知おきください。ただし、大会終了後に「大会誌」をお届けします。

17 参加費等の送金方法(原則、各都道府県事務局より一括送金)

- (1) 方 法 銀行振込
- (2) 銀行名 紀陽銀行 橋向支店
- (3) 口座番号 普通 店番317 口座番号 732850
- (4) 口座名義 (漢字名) 全日中和歌山大会(振込用の名義で代表者はいません)
(カナ名) ゼンニツチュウワカヤマタイカイ

II 都道府県別参加者数

都道府 県名	参加 者数	分科会参加者数								都道府 県名	参加 者数	分科会参加者数							
		1	2	3	4	5	6	7	8			1	2	3	4	5	6	7	8
北海道	59	7	10	9	9	6	6	6	6	滋賀	94	12	15	13	14	10	10	10	10
青森	18	2	2	2	2	2	2	4	2	京都	176	20	26	25	25	20	20	20	20
岩手	20	3	3	3	3	2	2	2	2	大阪	462	65	87	75	70	40	45	40	40
秋田	12	1	2	1	2	1	1	3	1	兵庫	340	50	60	50	50	35	30	30	35
宮城	20	2	4	3	3	2	2	2	2	奈良	98	12	14	13	13	11	11	12	12
山形	10	1	2	2	1	1	1	1	1	和歌山	107	14	14	14	14	12	13	13	13
福島	22	2	4	4	4	2	2	2	2	鳥取	8	1	1	1	1	1	1	1	1
茨城	22	2	4	4	4	2	2	2	2	島根	10	1	2	1	2	1	1	1	1
栃木	15	2	3	3	3	1	1	1	1	岡山	20	3	3	3	3	2	2	2	2
群馬	16	2	2	2	2	2	2	2	2	広島	17	3	2	2	2	2	2	2	2
埼玉	41	4	9	6	6	4	4	4	4	山口	15	2	2	2	2	2	2	2	1
千葉	38	4	7	5	6	4	4	4	4	香川	8	1	1	1	1	1	1	1	1
東京	73	10	13	11	11	7	7	7	7	高知	10	1	2	1	2	1	1	1	1
神奈川	52	7	11	9	9	4	4	4	4	徳島	8	1	1	1	1	1	1	1	1
山梨	8	1	1	1	1	1	1	1	1	愛媛	14	2	3	2	2	2	1	1	1
長野	19	2	3	3	3	2	2	2	2	福岡	33	4	7	5	5	3	3	3	3
新潟	23	3	4	4	3	3	2	2	2	佐賀	10	1	1	1	3	1	1	1	1
富山	10	1	1	1	1	1	3	1	1	長崎	16	2	2	2	2	2	2	2	2
石川	8	1	1	1	1	1	1	1	1	熊本	16	2	2	2	2	2	2	2	2
福井	8	1	1	1	1	1	1	1	1	大分	12	1	3	2	2	1	1	1	1
岐阜	18	2	3	2	3	2	2	2	2	宮崎	12	1	3	2	2	1	1	1	1
静岡	27	3	5	5	4	2	4	2	2	鹿児島	20	2	4	3	3	2	2	2	2
愛知	41	6	8	6	6	3	4	4	4	沖縄	16	2	2	2	4	2	2	1	1
三重	18	3	4	4	3	1	1	1	1	全日中	12	2	2	2	2	1	1	1	1
小計	598	72	107	92	91	57	61	61	57	小計	1534	205	259	225	227	156	156	151	155
										合計	2132	277	366	317	318	213	217	212	212

○分科会場

第1分科会	和歌山ビッグホエール 軽運動場	(277席)
第2分科会	和歌山ビッグウェーブ メインアリーナ	(366席)
第3分科会	和歌山ビッグウェーブ 武道場	(317席)
第4分科会	和歌山ビッグウェーブ サブアリーナ	(318席)
第5分科会	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランA	(213席)
第6分科会	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランB	(217席)
第7分科会	ホテルグランヴィア和歌山 ル・グランC	(212席)
第8分科会	ホテルグランヴィア和歌山 アクアグラン	(212席)

※ 参加者数は、近畿地区各府県は会員数の100% その他の各都道府県は、原則、平成30年度の会員数の10%以上とする。